



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 11, October 2015

Newsletter

データベース学会名鑑リニューアルについて

データベース学会名鑑については、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、公益財団法人日本学術協力財団、国立研究開発法人科学技術振興機構の協力の下、平成23年7月より運営してまいりましたが、この度、掲載情報の拡充及び操作性の向上等を目的として、ウェブサイトを全面リニューアルすることとなりました。リニューアル完了は平成28年3月を予定しております。

リニューアル期間中（平成27年9月～平成28年3月）、リニューアル作業の進捗如何によっては、やむを得ずサイトを一時閉鎖する場合がございます。その場合には、データベース学会名鑑に掲載している学会の名称および学会ホームページのURLを記載したPDFファイルをメンテナンス案内画面から閲覧できるようにする予定です。皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

なお、リニューアルサイトを開設する際には、調査項目も新たに、再度、調査を行う予定です。各学術団体の関係者の皆様におかれましては、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。



this issue

データベース学会名鑑について
学術会議叢書22について
寄附金及び賛助会費の税額控除
公開講演会開催に対する支援
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人
日本学術協力財団
〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

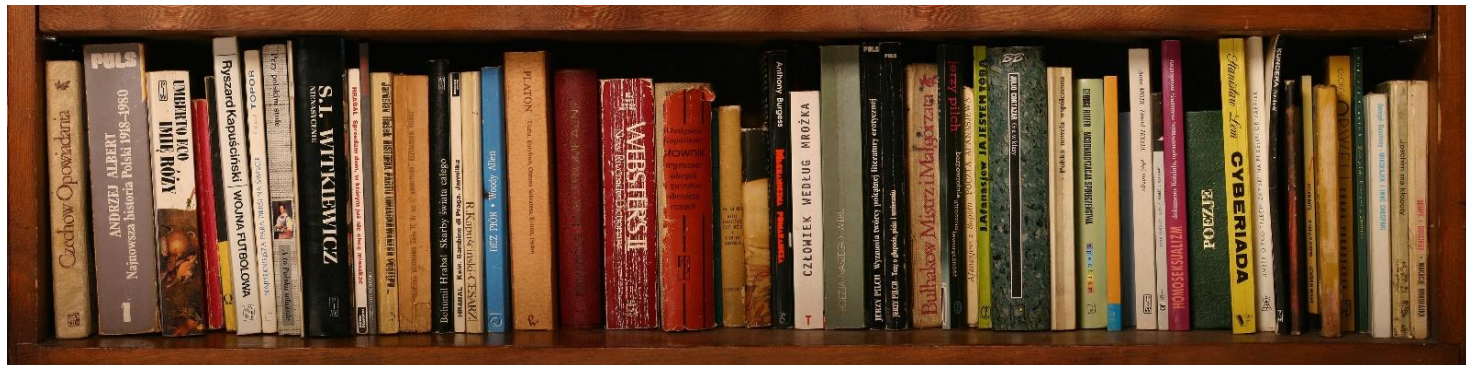
TEL 03-3403-9788

FAX 03-5410-1822

URL

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

2015 年 10 月 1 日発行



学術会議叢書 22

『地殻災害の軽減と学術・教育』（仮題）の出版について

2011年3月11日に起こったM9.0の大地震に起因する東日本大震災は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を誘発し、大きな被害と混乱をもたらしました。また、この大災害は地震学、地質学、地震歴史学などを主対象にしてきた科学者、研究者に大きな衝撃をもたらしました。

日本学術会議は、即座に大震災後の復興及び福島第一原子力発電所事故への対応のため、「東日本大震災復興支援委員会」を立ち上げるなどしてこの未曾有の災害に対応するための方策の検討などについて、積極的に取り組んできました。

そのような状況の中、東京大学地震研究所の呼びかけもあって、平成25年11月に、日本学術会議第一部史学委員会、地域研究委員会及び第三部地球惑星科学委員会と東京大学地震研究所が共催で学術フォーラム「地殻災害の軽減と学術・教育」を開催し、地震学、火山学、地質学、地理学、防災学等の諸分野からの報告を行いました。

財団では、この学術フォーラムでの専門家の先生方の講演記録を取り纏め、さらに、新たな先生方を迎え、今後の巨大災害への対応の参考とするため、平成27年度の『学術会議叢書22』として発刊することとしました。

現在、来年1月の発刊を目指して鋭意作業を行っています。是非、ご期待ください。

なお、この叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成をいただき、全国約1,500ヶ所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈することになっております。

【執筆予定者】

大西 隆	日本学術会議会長
佐竹健治	東京大学地震研究所教授、日本学術会議連携会員
中田節也	東京大学地震研究所教授、日本学術会議連携会員
熊木洋太	専修大学教授
伊藤谷生	帝京平成大学教授
平川 新	宮城学院女子大学学長
田中広明	埼玉県埋蔵文化財調査事業団主査
林 春男	京都大学防災研究所教授
宮城豊彦	東北学院大学教授、日本学術会議連携会員
平田 直	東京大学地震研究所教授、日本学術会議連携会員
田村圭子	新潟大学教授
保立道久	東京大学史料編纂所名誉教授
加藤尚之	東京大学地震研究所教授
西村太志	東北大学大学院教授
森田裕一	東京大学地震研究所教授
小池伸彦	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター室長
榎原雅治	東京大学史料編纂所教授

（敬称略）



寄附金及び賛助会費の税額控除について

財団は、2013年4月1日に公益財団法人として再出発いたしました。

賛助会費・寄附金等の税額控除につきましては、2013年6月4日に認可が下り、同日以降の財団に対する寄附金・賛助会費につきましては、特定公益増進法人への寄附金として、確定申告により税額控除等の税制上の優遇措置が受けられることとなりました。

個人の方の財団に対する寄附金及び賛助会費につきましては、確定申告により、所得税の**税額控除**または**所得控除**のいずれかを選択して受けることができます。

また、来年1月1日現在、東京都にお住まいの方は、確定申告により、**個人住民税の税額控除**が受けられます。

法人の場合は、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄付金に係る損金算入限度額に算入できます。

本年1月1日～12月31日までにいただいた賛助会費・寄附金につきましては、来年の確定申告の際に必要な領収証等を、本年12月初旬頃から順次お送りする予定です。

控除の限度額等の詳細につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせください。

なお、まだ賛助会員にご加入いただいていない方は、ご加入をご検討いただければ幸いに存じます。

お申し込みはFAX（03-5410-1822）にて、ご住所・ご氏名をご連絡ください。折返し、郵便振替票をお送りいたします。

会員の種類		年会費（1口）※1
個人 会員	特別維持会員	30,000 円
	一般会員	10,000 円
	シニア会員※2	6,000 円
	学生会員※3	5,000 円
団体 会員	学術団体会員※4	50,000 円
	企業、公益法人会員※5	100,000 円

※1 4月から翌年3月までを1年としております。

※2 70歳以上で、有給の職についていない方です。

※3 高専・短大・大学・大学院の在学者です。ご加入申込時に、在学を証明する書類（学生証のコピー等）を添付してください。

※4 学術研究団体（公益法人である学・協会を含む）、大学、試験研究機関等です。

※5 企業、企業の試験機関、公益法人、一般の団体です。

日本学術会議部会・地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の部会・地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行いました。

◎第二部、北海道地区主催

「感染症との闘い」

平成27年8月5日（水）

於：北海道大学フラテホール

◎第一部主催

「震災復興の今を考える」

平成27年8月10日（月）

於：福島市AOZ

◎第三部主催、中部・四国地区主催

「市民に向けた巨大津波の最先端科学と正しい防災知識」

平成27年8月26日（水）

於：高知工科大学永国寺キャンパス



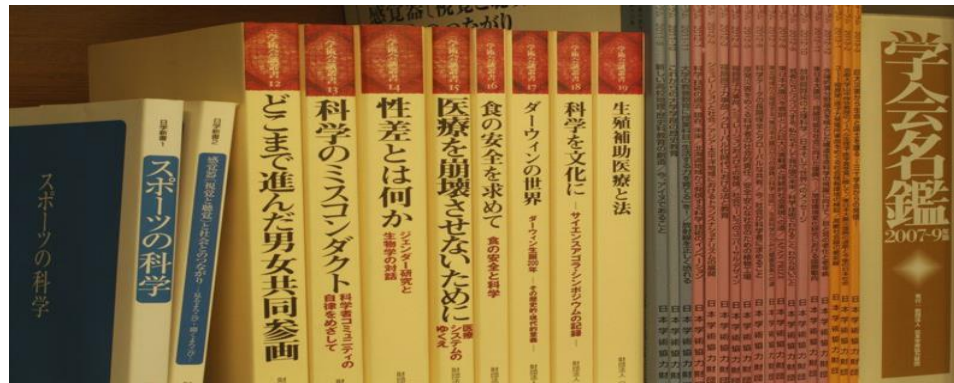
◎九州・沖縄地区会議主催

「水素元年」

平成27年9月8日（火）

於：九州大学稲盛財団記念館稲盛ホール





出版物のご案内

※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

月刊誌 学術の動向

本体価格 720 円＋税（送料込）
年間購読 8,230 円（税・送料込）
賛助会員は無料配布

- '15 年 7 月号 災害に対するレジリエンスの向上に向けて
デング熱と蚊の分類と自然史標本
- 8 月号 東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の
復興・再生に向けて
JAPAN PRIZE
- 9 月号 現代の雇用危機を考える
人間力・社会力を強化する情報社会

学術会議叢書

A5 判・本体価格 1,800 円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 1,750 円（税・送料込）

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理（品切れ） | 12 どこまで進んだ男女共同参画 |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 13 科学のミコンダクト（品切れ） |
| 3 男女共同参画社会（品切れ） | 14 性差とは何か（品切れ） |
| 4 エネルギー学を考える（品切れ） | 15 医療を崩壊させないために |
| 5 多発する事故から何を学ぶか（品切れ） | 16 食の安全を求めて |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命（品切れ） | 17 ダーウィンの世界 |
| 7 先端科学技術と法（品切れ） | 18 科学を文化に |
| 8 食の安全と安心を守る（品切れ） | 19 生殖補助医療と法 |
| 9 医療事故は予防できるか | 20 放射能除染の土壌科学 |
| 10 今、なぜ、若者の理科離れか（品切れ） | 21 高レベル放射性廃棄物の
最終処分について |
| 11 舞踊と身体表現 | |

※品切れ図書につきましては、コピーサービスを行っています。

日学新書

新書判・本体価格 750 円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 730 円（税・送料込）

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器〔視覚と聴覚〕と社会とのつながり
- 3 地球社会の環境ビジョン—これからの環境学—（品切れ）

データベース
学会名鑑
<http://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>



データベース「学会名鑑」は、従来、財団が冊子媒体で発行していた『学会名鑑』を基に、約 2,100 の国内学術団体に対して調査を行い、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）及び日本学術協力財団が協力して主要学術団体の各種データを収録したものです。下記 URL からいつでもご覧いただけます。

<http://gakkai.jst.go.jp/>

公益財団法人日本学術協力財団

〒106-0031

東京都港区西麻布 3-24-20

TEL 03-3403-9788

03-5410-0242

FAX 03-5410-1822

URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。

今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。